

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

第4回定例会

特別一般会計 補正予算可決

一般会計の歳入歳出予算に

17億2千804万6千円を追加す

昭和60年第4回定例会は、12月9日から24日までの16日間に行われ、審議が行われました。今回、市長提出議案の一般・特別会計の補正予算、高幡、豊田南地区の区画整理事業に必要な条例の制定など25議案が可決され、1議案が継続審議となりました。

議員提出議案の意見書2議案が議決され、1議案は未上程となりました。また請願13件が採択され、一般質問は23人の議員から59件の質問が行われました。継続審議中でありました昭和59年度一般・特別会計決算も認定されました。

本会議の経過

今回の定例会は、12月9日に招集され、会議録署名議員に、中山基昭、大柄保両議員を指名し、会期を12月24日までの16日間と決定し開かれました。

高幡議長は、本定例会を病氣治療入院のため欠席されました。高幡議長欠席のため、定例会初日から米沢副議長に

より進められ、12月24日に閉会となりました。9日、会期の決定が行われました。10日、11日、市長の行政報告、諸般の報告、審査報告、議案上程が行われ、行政報告には10名の議員から質疑が行われました。主な質疑の項目は、次のとおりです。

彰者選考、④遺跡調査会使用不明金訴訟、⑤福祉協議会の全国集会、⑥庁舎内のヒラ掘示及び教員スト問題、⑦市民会館利用状況、⑧南部地域の医療問題。

審査報告は、昭和59年度一般・特別会計決算特別委員会審査報告がされ、両決算とも認定されました。又請願審査報告が行われ、3件採択されました。続いて、市長提出議案24件が上程、請願2件も上程され、担当常任委員会に付託されました。

託されました。12日、18日、一般質問が行われました。その後、追加議案2件上程、請願4件も上程され、担当常任委員会に付託されました。

19日、20日、常任委員会開催。24日、常任委員会に付託されていた議案、請願の審査報告がされ、議案25件可決、1議案継続審議、請願13件が採択されました。議員提出議案の意見書2件を決議して、閉会しました。

9千425万5千円) 補正総額2億7千804万6千円) 特別会計補正予算

昭和60年度日野市一般会計補正予算について(第3号)

主な議案と内容

1、補正額と予算総額
17億2千804万6千円の増額補正で、予算総額は32億5千421万4千円となりました。

2、歳入
主なものは、①法人市民税の大幅な伸びによる9億5千200万円、②前年度繰越金5億6千140万7千円です。

3、歳出(記載数値は増額補正) 主な事項のみを掲載します。

【総務費】
▽(仮称)生活・保健センタ設計料3千780万8千円)
▽地域の教育力を考える懇談会講師謝礼金(18万円)
▽土地開発基金へ繰出(運用による利子1千200万円)
補正総額1億69万円

【民生費】
▽老人委託措置費(新たに特別養護老人ホームに入所した12人分、2千400万3千円)
▽特別会計へ繰出(老人保健特別会計1億7千200万6千円、国民健康保険特別会計

9千425万5千円) 補正総額2億7千804万6千円) 特別会計補正予算

【労働費】
▽(仮称)勤労・青年会館開設用品、電話架設、消耗品(多摩平二丁目昭和61年春開設予定、86万1千円)

【土木費】
▽土地区画整理事業特別会計へ繰出(高幡区画整理事業進捗に伴う用地の先行取得5億6千917万4千円) 補正総額5億8千244万5千円

【教育費】
▽天体望遠鏡(ハレー彗星接近に対応して、小学校9校分17万円。中学校は設置済) 補正総額4千707万8千円

【公債費】
歳入増に伴う繰上げ償還(6億7千200万9千円) これらの他、【衛生費】消防費【農業費】【議会費】の4項目3千780万3千円

4、右の内容とともに、先行きの事業を予定する債務負担行為補正として(仮称)東部会館新築事業費、限度額12億2千200万円を計上しています。

◎国民健康保険特別会計 補正額は384万4千円、予算総額30億4千666万1千円

◎土地区画整理事業特別会計 補正額は7億8千450万6千円、予算総額20億1千248万5千円

◎市立総合病院事業会計 補正額は1千144万円、予算総額23億2千764万2千円

◎受託水道事業特別会計 補正額は1億1千427万7千円、予算総額12億3千675万2千円

◎農業共済事業特別会計 補正額は14万5千円、予算総額2千484万5千円

◎老人保健特別会計 補正額は97万5千円、予算総額28億7千499万7千円

◎仲田緑地用地特別会計 補正額は9万円、予算総額7億2千210万8千円

1、条例制定の根拠など
○土地区画整理法第53条第1項によっています。
○右の法律では、市が区画整理事業を行う場合、条例により費用の分担などを定めることとされています。

2、主な項目
対象地域の名称
①豊田一丁目・二丁目・三丁目・四丁目の各一部
②東豊田一丁目・二丁目の各一部
③東平山一丁目・二丁目の各一部

事務所の所在地
日野市役所に置きます。

費用の負担
次の①~④で対応します。

①日野市の負担金 ②保留地の処分金 ③道路等の公

共施設管理者負担金 ④都の補助金又は助成金(通例は国の補助金もありますが高幡区画整理事業では、国庫補助相当分を東京都が負担するとして内定済みです)

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業豊田南土地区画整理審議会」を置き、委員数を15人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業豊田南土地区画整理審議会」を置き、委員数を15人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業豊田南土地区画整理審議会」を置き、委員数を15人とし、



どんど焼き

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業豊田南土地区画整理審議会」を置き、委員数を15人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業豊田南土地区画整理審議会」を置き、委員数を15人とし、

土地区画整理審議会の設置
「日野都市計画事業高幡土地区画整理審議会」を置き、委員数を10人とし、

昭和59年度決算 審査から

昭和59年度、一般会計決算特別委員会が、10月22日、23日、24日に、特別会計決算特別委員会が、10月29日に開かれ、慎重な審査が行われました。

両特別委員会の審査は、行政執行の責任者である市長をはじめ、助役、教育長、収入役、担当幹部職員を説明員に招き、質疑審査が進められました。

審査の過程では、行政当局に対し、予算執行の方法や予算編成に、市民サービスのための積極的な指摘がなされ、今後の行政に反映されることになりました。

この両特別委員会の審査経過及び結論は、12月10日の本会議場で、一般会計決算は、秦委員長から、特別会計決算は、市川委員長より、詳細にわたる審査報告がなされ、両特別委員会とも昭和59年度一般会計決算、特別会計決算とも「認定すべきもの」との結論が出された旨の報告が行われました。

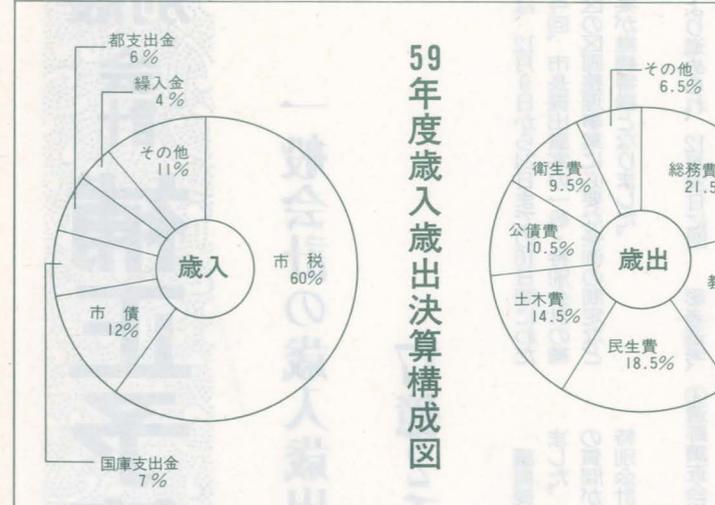
両委員長の報告の後、本会議において、一般会計決算に対し、賛成、反対の意見が述べられ、採決に入り、賛成多数で認定されることになりました。又、特別会計決算には特に意見はなく、採決の結果認定されることに決しました。

よって、昭和59年度両会計決算は、12月定例会において認定されました。

一般会計決算
委員長の報告の概略は次のとおりです。

決算を歳入と歳出に分け、初めに歳入全般についての審査内容が報告され、歳入の主な審査内容は、基金、預金の運用、法人市民税の調定、市税の不納欠損など11件でした。

歳出については、歳出費から予備費の13の款に分け、質疑内容が報告されました。歳出費と総務費は、動く窓口車、電算機による効率的業務など7件、民生費は、身障者サービス、保育園問題など16件、衛生、労働費は、健康診断、居住環境整備など21件、農業商工費は、小規模事業振興など6件、土木、消防費は、計画的土木工事の遂行など15件、教育費は、小中学校の学区など27件、公債、予備費は、公債償還金など6件。最後に総括質疑として、14件が行われた旨の報告がありました。



一般会計決算審査風景

特別会計決算
委員長の報告の概略は次のとおりです。

特別会計決算は、8種類の事業別会計から成っており、この事業別決算を順次審査された内容が報告されました。

事業別と主な審査内容

- 1、国民健康保険特別会計決算は、退職者医療制度、老人保健拠出金、保険税の収納率と不納欠損など。
- 2、都市計画事業特別会計決算は、事業費の中の工事請負費、豊田南及び高幡地区の区画整理事業の住民意識調査についてなど。
- 3、下水道事業特別会計決算は、南多摩処理区公共下水道の進捗状況、各項目の不用額の決算について、下水管の敷設工事の問題点など。
- 4、総合病院事業会計決算は市立病院勤務職員の人員費（看護婦の給与制度）、病院用地拡張、駐車場拡張など。
- 5、受託水道事業特別会計決算は、専用水道の都水道への移管の取り組み、水道職員の組合ストによる市民周知についてなど。
- 6、農業共済事業特別会計決算は、蚕繭共済決定の残金が処理されない理由。
- 7、老人保健特別会計決算は決算内容に特段の質疑はなかった。
- 8、仲田緑地用地特別会計決算は、用地買収に対し国からの補助金はどのようになっているのか、総合グラウンド造成施設に聖火台を作る予定はあるかなど。

以上、8事業決算の報告がありました。

市民クラブを代表して、昭和59年度一般会計決算を認定する立場から意見を述べます。

歳入については、低成長、不安定な経済環境と、国の財政再建を理由にした、厳しい歳出の中で、自主財源による行政を進め、着実な施策や事業が推進されております。

今後の課題として、特に市債の運用等に当たっては、長期的な方針を確立し、効率的な財政の運用に努力を要請しておきます。

歳出については、福祉、教育、都市環境と生活施設の整備、自然と緑、清流を守るための事業などに特徴的な施策



特別会計決算審査風景

59年度一般会計決算 総括意見要旨

市民クラブ (賛成)

が実施された事には、一定の評価をするものです。

今後の重点的な課題として

- ① 高齢者、高齢者施策の充実について。
- ② 健康づくりと医療施設の整備について。
- ③ 青少年の健全な育成と社会教育の充実について。
- ④ 教育文化、体育施策の向上と振興について。
- ⑤ 都市生活施設の整備について。
- ⑥ 行財政の効率的な運営について。

以上6項目について要請し市民の創意と期待を大切に、行政施策や事業の充実と促進が図られることを期待いたします。

公明党 (賛成)

公明党を代表して、昭和59年度一般会計決算を認定する立場から意見を述べます。

今日の不安定要素を多くかかえた経済状況の中で、昭和59年度の施策として、南平高の誘致、清掃工場の建設、教育施設の整備、下水道工事の着工、生活健康センターの計画などが施策の成果としてあげられます。

今後さらに住みよい町づくり、市民要望に応えるために、若干の要望をいたします。

歳入については、法人市民税をはじめ、市財政の確立と財源確保に長期的な立場で、一層の努力が必要とされます。

歳出については、行財政改革のあり、職員の有効配置、職場のOA化など将来の行政

革新クラブ (賛成)

革新クラブを代表して、昭和59年度一般会計決算を認定する立場から意見を述べます。

革新市政12年目の節目の年で、市民本位の施策として、市民会館建設、老人、心身障害者施設の新設、第七幼稚園新設、黒川公園流水整備、公共下水道の供用開始、万願寺区画整理事業進行など大きな成果を、高く評価するものです。しかし市職員に対する昇給6ヶ月延伸は、起債制限による国の不当な圧力とはいえ、2度と屈従してはなりません。

今後の行政の執行に対し3点意見を述べておきます。

- ① 補正予算の機会があらわながら、早い時期の予備費の流用。これは、法的には合致するが、常識的に議会重視にながります。
- ② 9月定例会での決算認定時期を厳守すること。今回は議会の都合もありましたが、決算認定時における意見、指摘事項が明年度への予算に反映できることや、繰越金認定前の補正予算可決の矛盾を防止するためです。
- ③ 決算書の大規模改善により

自由民主党 (反対)

自由民主党日野市議団を代表して、昭和59年度一般会計決算の認定に反対の立場で、意見を述べます。

はじめに、予算や決算は全体主義であり、一点の疑問でもあれば反対する訳です。そこで反対する意見を申し上げます。

歳入については、市税に約10億円の滞納金があります。これは、税務職員が少なく、機構的に不備があり、これでは税の公平が保たれません。

歳出については、国や都の方針に合わせて、日野市は都市整備事業を進めていまして、特に公共下水道工事など、当然に受けられる補助金の時期を逃してしまい、事業の補助金が出来なくなってしまうからです。

次に基金に積み立ててある資金で、市採用の教員をもって、一校六百人規模の40人学級をつくり、義務教育の充実を図る予定です。又、基金の運用で、老人達の福祉に還元すべきであります。

最後に、法律にも日野市の条例にもない、遺跡調査会の使途不明金事件の裁判費用の支出に、市税が支出されているという事です。これは全くの違

日本共産党 (賛成)

日本共産党日野市議団を代表して、昭和59年度一般会計決算を認定する立場で、意見を述べます。

政府自民党は、国家的危機にあるとして、臨調行政改革をおしつけ、福祉や教育を犠牲にし、軍事費を突出させ、国民と地方自治体に忍耐を強いるものになっている。これらにより、国庫支出金や都支出金が減額され、市民生活に一段と重くのしかかって来ている。しかし革新市政は、市民要望に応えて、つばき学園新設、かしの木荘新設、学童クラブの充実、市民会館の建設、都市整備事業進行、教育施設の拡充など、積極的に市民要望に応えたものです。

歳出の内総務費では、循環バス路線の実現、平和宣言都市の平和への啓発塔の増設、民生費では、障害者施設の新設、衛生費では、ゴミ焼却炉の新設、有害ゴミの集積用器購入、土木費では道路用地の買収と工事、公園用地の買収、教育費では中学校給食の拡大など歳出にみた、主な施策の内容です。

おわりに、市立幼稚園の保育料の値上げについては、値上げに見合う保育内容の改善、又、低所得者層に対する下水道料金の考慮を要望して、決算を認定する意見とします。



一般質問要旨

各定例会では、市政全般について、一般質問が行われますが、今回は23名の議員から59件の質問がありました。

一ノ瀬 隆

革新クラブ

① 身障学級の生徒の家族の身になって考えよう

問1、身障者向けの仕事を提供する企業が市内に現れるよう市で努力できないか。
問2、市の清掃などの委託業者に身障者を雇用するよう要請できないか。
問3、つばさ学園にもっと多くの身障者の利用拡大をはかることに努力できないか。
問4、働く場所を持った身障者技能養成所なるものを建設する考えはあるか。

答、福祉部長

答1、身体障害者雇用促進法はあるが完全に実施されていない状況にあり、今後は企業に障害者への理解を深めて頂くよう努力していきます。
答2、雇用されても定着率に課題は残るが、委託業者と積極的に協議してまいります。
答3、現在まだ余裕があるもので、利用者を募っていきます。
答4、今後十分検討していきます。

答、市長

障害者の方々が活動できる場づくりを施策に取り入れ進

めていきます。

② 公園がない、地番がつけられない、これをどうして放置しているのか

答、都市整備部長

法務局の担当であったので手が着けられなかったが、現在は国土調査法に基づいて周辺住民の理解を求めながら解決に向け努力を進めております。

小俣 昭光

日本共産党

① 市民とともに平和な日野市を

首都で基地があるのは日本だけという恥すべき状態にある。問1、横田、立川両基地の現状はどのようになっているか。問2、航空機騒音の測定を増やし、測定結果の広報掲載を。問3、平和資料館の建設を。答、企画財政部長

答1、横田は2市2町にまたがり、在日米軍が使用し、軍人軍属は4千800人。立川は陸上自衛隊が使用し、隊員600人。各々航空機を有しています。答3、ふるさと博物館を63年に造ります。ここに平和資料

も展示することで対応したい。

答、生活環境部長
答2、大幅増は難しい。測定結果は広報でお伝えしたい。

② 落川都営住宅建て替えにともない環境整備を

答、企画財政部長
団地西側の4m道路は、建て替えの機会に6m幅に拡げます。関連公共施設として、子どもの遊び場、集会所などを予定しています。

③ 浅川河川敷内でのスポーツサークルの活動存続のため

答、企画財政部長

小俣議員指摘の場所は、建設省の黙認という形で市民がスポーツなどに使っています。市はこの現状を建設省に説明し理解を求めました。回答は洪水対策用に川を掘り下げなければならないとのことでした。

馬場 繁夫

公明党

① 京王線平山城址公園・南平駅の自転車対策について

問1、市営住宅建設と工事に伴う道路の安全性を問う。問2、南平五丁目水路整備について問う。答、総務部長、建設部長
答1、明年から5カ年計画で4階建、27戸を建設予定しており、住民に迷惑をかけるよう注意して工事を行います。答、建設部長
答2、都と協議して進めてまいります。

② 市民要望の早期実現について

答、建設部長
ご指摘の危険箇所や水路整備は、出来る箇所から速やか

飯山 茂

市民クラブ

① 市営火葬場の問題について

多摩平三丁目にある市営火葬場は、建設の時、周囲が山林だった。今は第一種住宅専用地域に指定されていて増築もできない。こうした中で今年、町田市にある南多摩斎場組合に加入するなど、市営火葬場を取り巻く状況もいろいろ変わってきている。以下、数点の質問をした上で、提言をしたい。

問1、利用の市民に使用料の負担をお願いしてはどうか。問2、今ある設備の耐用年数ほどのくらいか。問3、今の施設が使用不能となれば南多摩斎場利用に全面切り換えとなるのではないか。その際、多摩平の市営火葬場跡地はどのようにする考えか。

【提言】
住宅事情が悪く、自宅で通夜などができない市民も多いため、その跡地は市営斎場にするよう提言する。
答、生活環境部長
答1、近くの市とのつり合いを考えながら、これから検討を加えていきたいと思えます。答2、待合棟は7-8年は使えます。火葬炉は昭和75年までは保全できる見込みです。答、市長
答3、町田市にある南多摩斎場組合に加入して将来の心配をしております。

秦 正一

公明党

① 養護老人ホーム(特養・軽費)の建設について

問、高齢化社会の対応の中で養護老人ホーム建設をどのように考えるか。答、福祉部長
民間経営への援助と市独自の建設が考えられるが、当面は民間経営の援助で入所を図り、今後は市内居住者を対象にホーム建設を検討してまいりたいと考えています。

旭が丘64ブロックの残された最後の用地に「コミュニティーセンター」の建設をはか

答、企画財政部長
この地区には各種の公共施設が建設されており、利用調査結果にも中心な位置であるので空間利用(プラザとしての利用)が望ましい方向とされているので、空間利用の方

東光寺の河川敷に市営球場の建設について再度問

答、企画財政部長
河川敷利用には、旧地主の問題など解消しなければならぬ課題があるので、現在これらの問題の解決に向け努力しております。

配はなくなりました。多摩平の施設は用途地域に違反しないようにしながら現状を維持していきたいと考えています。

程になつてはいる。敷地は60年8月に市に移管され、また一つ条件が揃ったように思う。建物については、いつ地区センターにしようとするのか。答、生活環境部長
今建物があるので、取り壊さなければいけません。壊した後に地区センターを建てる見込みですが、いつ建設するかは計画はまだ決ってはいません。既に新設計画がある方から優先することになります。答、市長
早く実現したいと考えています。なお、日野市では、地区センターを一年に一館ほど建設してまいります。

問、都市計画道路用地だが現状は空地になっている。工事の予定はどのようになっているか。また、工事前の事故防止などはどのようにしているか。答、建設部長
豊田町内での、この道路工事予算は、60年6月の補正予算で用意しました。地元自治会に計画を説明しましたが、承諾を得るには至っていません。承諾を得るまで、さらに時間をかけたかと思えます。住民が心配している事故のことは、警察署に伝え、巡回を要請します。

日野台二丁目自治会館を地区センター建設取り扱

問、この会館は雨漏りがする

改修でなく、建て替えの方向で検討しております。答、市長
答2、国や都の理解を求め、補助金を受けて、全面改築に向け努力していきます。

② 浄化槽の管理と清流問題

問1、浄化槽の進捗状況と費用負担について問う。問2、浄化槽の苦情相談と浄化槽の維持管理状況について問う。答、清掃部長
答1、過去4カ年を見ると、くみ取りが減り、浄化槽が増え全体の67%位であり、公共下水よりも年間7千円位、標準家庭で費用が多かかっています。答2、苦情は悪臭、放流水、清掃の未実施などで、本年10月から浄化槽法で清掃が義務づけられることになりました。

第五小学校全面改築について

問1、改築に向けての現状はどのようになっているか。問2、全面改築の今後の見通しについて問う。

答、教育長
答1、現在まで、児童数に合わせて増築を重ねて来ました。そのため校舎としての適性を欠く部分があり、一部

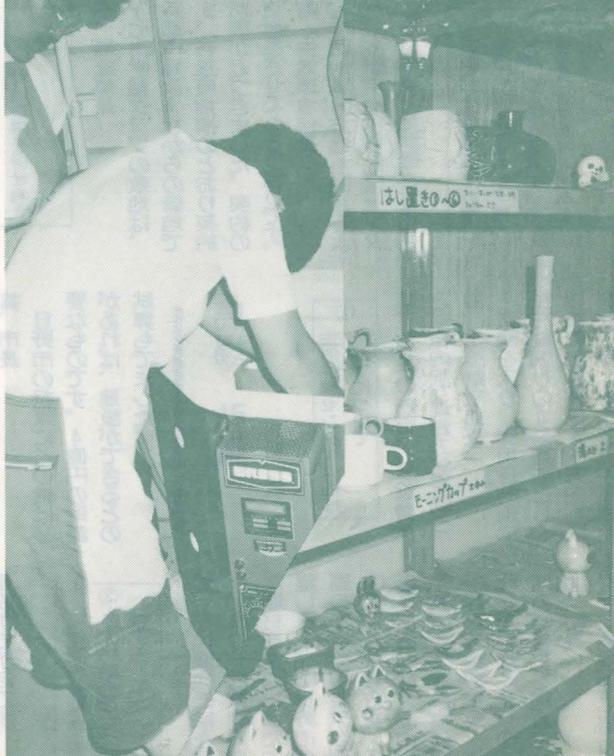
法人市民税の性質を考慮し、提言のよりに財政計画を立て運用に努めていきます。

③ 民税の高比率のメリットについて問う

答、市長



つばさ学園 その1 身体障害者福祉センター「やまばと学級」にて



つばさ学園 その2 精神薄弱者授産施設「ひばり学級」にて

鈴木 美奈子

日本共産党

高齢化社会をむかえ、老人福祉のいっそうの発展のために緊急5カ年計画をつくり、施策を前進させよ。

答、福祉部長

○現在、日野市には公共施設5カ年計画があります。施設については、この中で対応していく考えです。

○昨年9月に実施した、老人実態・意識調査の結果が本年2月にまとまりました。これによると、健康、就労などに関心が高まっています。これらに必要なものから前進させていきます。

答、市長

なるべく鈴木議員の提言に沿って進めていきます。

② 第一幼稚園の4歳児クラスを増設について

答、教育長

多摩平地区の4歳児定数に

質問要旨

が、今回は23名の議員から59件の質問がありました。



早春—うめ—

ついては、私立幼稚園連盟とも話し合います。鈴木議員からの提言も含めて検討します。

答、市長

十分な対応を考えます。

③ 多摩平に住居要求にもとづく総合文化、福祉施設をつくれ

答、企画財政部長

市役所多摩平支所の存続、廃止の問題を念頭に、いろいろ考えていきたいと思

答、市長

多摩平に児童施設を欲しいと思

古賀 俊昭

自由民主党

① いつまで続く、革新・森田市長の反行軍姿勢

問1、有給休暇と年休消化の状況を問う。

問2、職員組合の職免状況を問う。

問3、給与、退職金の「是正計画」の内容を問う。

問4、行政調査会の開催状況と内容を問う。

答、助役、総務部長

答1、有給休暇消化率は95・7%、年休は69・3%で夏休を減らし、年休を消化させるよう今後組合と協議していき

答、市長

ます。

答2、組合交渉で86回、共済関係で18回、福利関係で34日であり、今後も民主的組合活動の範囲内で認めていきます。

答、市長

答3、給与関係では、昇給特動手当、等級の新設等で、退職金は最高で80ヶ月にする内容です。

答、企画財政部長

答4、全体会議が14回、小委員会が4回で、給与、教育、福祉、電算、事務事業等の現状を分析し検討しており、本年末で中間報告を行います。

② 市立総合病院の機能強化に積極的に取り組め

問1、高度医療機器導入計画はあるか問う。

問2、パート医師の解消に向けての対策を問う。

答、病院事務長

答1、民間では設備困難な医療機器導入計画を持っています。

答2、本年常勤医師4名が認められ、今後パート医師の解消に努力していきます。

答、助役、総務部長

古谷 太郎

自由民主党

① 市税収入二〇〇億円突破を記念して、市民に感謝の意を示せ

答、市長

市の財政が納税者の努力により、徐々に力をつけてきてもらっていることは有難いことだと思

答、企画財政部長

答4、全体会議が14回、小委員会が4回で、給与、教育、福祉、電算、事務事業等の現状を分析し検討しており、本年末で中間報告を行います。

② この施設については、旧庁舎跡地利用検討委員会、その機能、規模、いつ建てるかなどを検討してきました。あわせて、建設のことも具体的な計画をたてました。

○ 今回の補正予算に設計費3千700万円を計上しています。建物は62年に出来上ります。

○ 温水プールは、一般用、医療用、この二つの中間的な位置づけのものを予定しま

答、市長

③ 工事用大型トラックの激増に対し、児童・生徒特に仲田小学校の安全対策を強化せよ

答、教育長

学校、PTA、工事をしていく建設事務所と協議し、次の対応を行いました。① 車の運行は児童の登校後とするよう建設会社に要請した。② 4人のガードマンを要所に配置。③ 通学路を変更。

答、市長

生活保健センターの建設促進と温水プールの併設に就く

答、企画財政部長

○ この施設については、旧庁舎跡地利用検討委員会、その機能、規模、いつ建てるかなどを検討してきました。あわせて、建設のことも具体的な計画をたてました。

○ 今回の補正予算に設計費3千700万円を計上しています。建物は62年に出来上ります。

○ 温水プールは、一般用、医療用、この二つの中間的な位置づけのものを予定しま

答、市長

大柄 保

市民クラブ

① 消防車両について

問1、消防車の耐用年数はどれ位か又、何年で取り替えているか。

問2、消防車の指定給油所は市内に何ヶ所あるか。

問3、非常備消防への指揮車配備の予定はあるか。

答、生活環境部長

答1、概ね10年位と考えており、8年〜12年の間に取り替えるようにしています。

答2、給油所は市内11業者のガソリンスタンドを指定しております。

答3、ポンプ車を優先に考えており、平成3年度はむりと

思うが、今後検討します。

中央公民館施設の整備について

問1、調理室は、どれ位利用されているか。

問2、調理実習室の受講で、受講者に講師の手元が見にくい状態を改善できないか。

答、教育長

答1、59年度で170回、2千82名の方々が利用されました。答2、60年度で調理室の修理を考えており、天井に鏡を取り付けて改善に努力します。

答、市長

社会一歩に合った高齢者への真の福祉事業を(特に弱立場の高齢者)に就く

問、家にいる方達への援助、老人ホーム利用希望者への援助、各々の展望をききたい。

答、福祉部長

○ 老人が家庭に於てできる限りの暮らせよう、施策の充実化を図っています。具体的には、予防医療、入浴サービス、ホームヘルパー等の各制度です。

○ 民間老人ホームを今より多い人数が利用できるよう話を進め、同時に市立施設建設も検討しています。

答、市長

高齢者福祉の施策の体系化を図っていきたく考えます。

西平山地区の区画整理と豊田一八子間の西平山地区に中央線新駅誘致の推進を

答、都市整備部長

この地区の区画整理に向けて準備を進めています。

具体的には、59年、60年とこの地域の測量をしました。今、地元権利者への説明資料作りをしています。61年度には関連経費を計上したいと考

えたいと考

えていると考

西平山地区に着手できるのは、先になると考

万願寺に続き高幡、豊田南と事業が予定されるので、その次かと思

○ 豊田西駅の誘致を推進しています。具体的には、国鉄に話し合いを申し入れています。

答、市長

中曽根内閣の臨調行軍攻撃から市民のくらしをまもり、市政を確保せよ

問1、来年度の国、都の補助の削減はあるのか、又、起債カットの動きはあるのか、あればその対応を問う。

問2、下水道受益者負担なしの場合の軽減額はいくらか。

答、企画財政部長

答1、補助金は本年に比較して、約11億6千万円の削減を予測しており、起債カットについては、現在まで連絡がありません。

答、都市整備部長

答2、50坪位の標準で、建設省方式で7万6千円、下水道財政調査会方式で16万5千円位です。

答、市長

次の住民要求には早期に

① 新町地区に地区センターを設置せよ。② 大久保団地西側の空地利用をはかれ。③ 神明上都市下水路の建設促進をはかれ。

答、生活環境部長

答1、ご質問の趣旨に沿って努力してまいります。

答、企画財政部長

万願寺区画整理第2期事業はいつ頃になるか、事業開始前の調査費は61年予算計上する考

答、都市整備部長

答3、64年度に完了させる計画です。60年度で設計を行い、以降、順次進めていきます。

答、市長

万願寺2期工事(中央道北側)の着手時期は未定です。モノレール敷設工事と並行できるかが課題です。

答、市長

高幡不動駅への近道一番橋はいつ架橋するのか、住民要望、交通安全の上からも必要だ

答、建設部長

現在、二番橋は必要という前提で検討を進めています。

答、市長

日野市の将来にこの橋は必要なもの。4億円の財源があれば、建設ができるもの試算もできました。

問、4年間の任期を振りかえり、私の一般質問で取り上げた題材を9点にわたって、要望します。①日野市の長期計画の策定。②職員の給与改善。③スリムな行政。④国際交流を積極的に。⑤市立病院の充実。⑥都市計画道路の促進。⑦社会教育の充実。⑧政治的な偏向をなくせ。⑨市政の内部の活性化を図れ。

答、市長

提言は積極的に努力します。

生活保健センター(旧庁舎跡)について

問、施設の内容、建設費用と財源内訳、運営方式を問う。

答、企画財政部長

女園を入り、利用目的別に左右縦割りの4階建てとし、建設費用は16億8千万円、内訳は2億3千万円が補助

金・地方債と一般財源から各々7億6千9百万円の予定になります。市職員の直接の運営は現在考

万願寺地域の複合施設(仮称、東部会館)について

問、現在までの経過と施設内容を問う。

答、都市整備部長

浅川処理場の環境整備により、地元、関係機関と話し合

り、新井橋北側に温水プール、会議室等を備えた建物を建設する予定です。

4年間の任期を振りかえり、市政全般について要望する

答、市長

提言は積極的に努力します。

生活保健センター(旧庁舎跡)について

問、施設の内容、建設費用と財源内訳、運営方式を問う。

答、企画財政部長

女園を入り、利用目的別に左右縦割りの4階建てとし、建設費用は16億8千万円、内訳は2億3千万円が補助

金・地方債と一般財源から各々7億6千9百万円の予定になります。市職員の直接の運営は現在考

万願寺地域の複合施設(仮称、東部会館)について

問、現在までの経過と施設内容を問う。

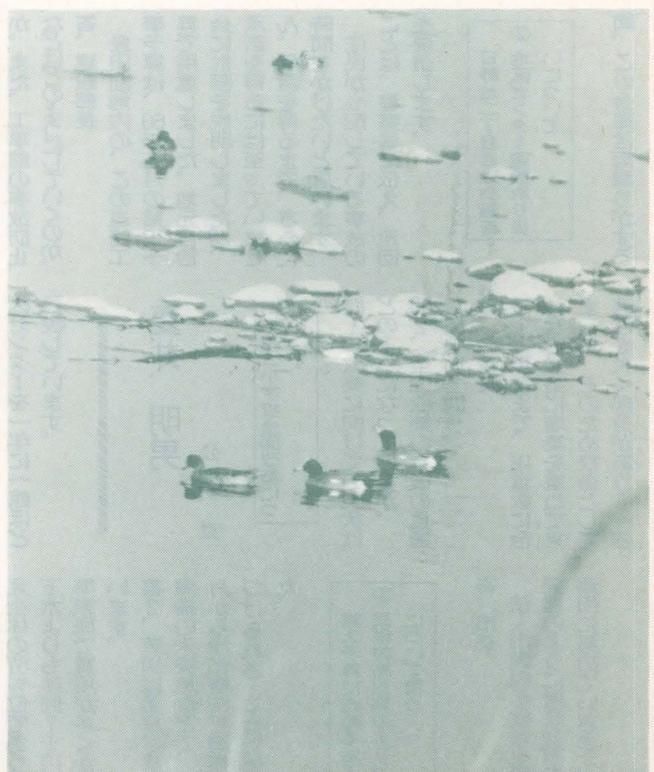
答、都市整備部長

浅川処理場の環境整備により、地元、関係機関と話し合

り、新井橋北側に温水プール、会議室等を備えた建物を建設する予定です。

4年間の任期を振りかえり、市政全般について要望する

答、市長



多摩川のわたりどり

一般

各定例会では市政全般について一般質問が行われます

福島 敏雄

革新クラブ

① 下水道事業の推進に全力を尽くせ

ら着手をしたい。③日本信販分譲地内のもぐさ観音地区広場は整備も済み、近い内に使えるようになる。④百草駅付近の用途地域の変更は都と協議中。⑤百草地区の地番整理は、現在具体化していません。⑥第二関戸橋は61年度現況調査を、これへの取付市道はこれから検討に入ります。⑦百草園付近の緑地を残す指導も考えたい。⑧浅川と程久保川との合流点にあるゲートボール場の整備は、地元にしてもらいたい。⑨学校開放は校庭以外にも拡げていく。⑩日本信販、西武団地に高齢者向けの複合施設を検討中。⑪新井、三沢の南北道路は61年度から着手します。

答、都市整備部長

浅川処理場は61年に用地買収が完了予定で順調に進んでおり、八王子処理場はこれから用地買収に入る予定です。61年から浅川処理場への幹線埋設工事に入る予定です。

答、都市整備部長

豊田南口の区画整理は住民と一緒に進めたい。

答、都市整備部長

事業前には、住民と検討会を開いたり、換地説明には個人面談も予定しております。

答、市長

市内循環バスの拡充を問う

答、企画財政部長

現在、市内交通バス検討委員会に諮問中なので、今少し時間を頂きたいと思っております。

答、市長

新町、栄町地区の住民要望について再々問う

答、市民部長

国に於て税制調査会で検討されています。重税感、立場、立場で異なっているように思っています。

答、市民部長

市税納税者に不公平課税はないか、市の行政改革の答申はいつされるのか

答、企画財政部長

下水道が日野市全体で供用開始となるのは昭和75年の見込み。②杉野学園と東電学園の周辺整備は、出来るでしょうか

答、都市整備部長

建設部長、生活環境部長、企画財政部長、市民部長

答、教育次長

答、市長



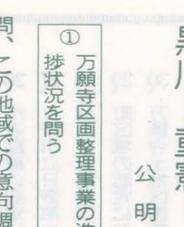
イレの設置と悪臭について。②、神跡跡地の文化施設建設、東光寺グラウンド建設下せき水路の活性化について。答、企画財政部長

答、市長



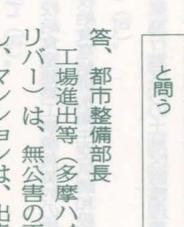
ミニデイ活動のために建てたいと考えています。平山苑地区の必要性が高いことはよく承知していますので、今後用地を買収しても建てることなれば、平山苑地区になろうかと考えています。答、教育長

答、市長



不足しているように思います。答2、61年3月に完成を予定し、50平方メートルの平屋建てを計画しております。答3、利用される方々の地域において、話し合いを持ち、地域の住民が中心になってネットワークづくりにより、利用されるようお願いいたします。

答、市長



「東京大改造計画」から日野市の緑と清流を守れと問う

答、都市整備部長

工場進出等(多摩ハイテクリバー)は、無公害の工場とし、マンションは、出来るだけ抑える方向で、環境整備に努めてまいります。園芸道には関心がありますが具体的な内容は確認されておりません。

答、市長



「東京大改造計画」から日野市の緑と清流を守れと問う

答、都市整備部長

工場進出等(多摩ハイテクリバー)は、無公害の工場とし、マンションは、出来るだけ抑える方向で、環境整備に努めてまいります。園芸道には関心がありますが具体的な内容は確認されておりません。

答、市長



「東京大改造計画」から日野市の緑と清流を守れと問う

答、都市整備部長

工場進出等(多摩ハイテクリバー)は、無公害の工場とし、マンションは、出来るだけ抑える方向で、環境整備に努めてまいります。園芸道には関心がありますが具体的な内容は確認されておりません。

答、市長

常任委員会の審査状況

請願・陳情

総務委員会

採択

後退を止め、団地居住者の不安を解消し、公団の所期の使命を果たすよう求めます。

【結論】全員の採択です。

厚生委員会

採択

【請願の要旨】 神明地区は際立った人口急増があり、住民の諸活動が益々活発になっています。自治会活動などにも使いたいと思っておりますので、住居の近くに地区センターを建てたいです。

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 国は本法を改定し、実施主体を都から市に移す等とされています。市町村は受入れ体制もありませんので、改定を行わないよう関係先へ求めてください。

【結論】賛成多数で採択し、意見書を関係先に送りました。

採択

【請願の要旨】 日野市は、日野一丁目地区より国道20号線に至るまでの道路に左右への横道がないので、右方面国道20号線へ出る近道・住民生活の利便を要するもの

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 南平台団地への進入路の傷み等がひどいので、市の管理道路として整備し、また進入路上部で度々土砂崩れがあるので、地域住民の安全確保のため早急な対策を要するものです。

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 長年衛生処理場等の悪臭等に悩まされ、流域下水道川処理場の予定地でもある下田、石田、新井、万願寺地域に複合施設を建設し、地域の文化、厚生面の施策の充実を要する請願です。

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 多摩平三丁目17番地に駐車場が建設される話があります。造られると通学する児童の危険が増し、また良好な住宅環境も壊れてしまいます。ついでに、市は土地所有者を指導していただきたい。

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 老人医療費の自己負担金を引き上げると、老人が医者にかかりにくくなります。引き上げないよう、国に要望していただきたい。

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 高幡不動駅北側地区の区画整理に対する反対請願

【結論】全員の採択です。

採択

【請願の要旨】 高幡不動駅南側地区の区画整理に対する反対請願

【結論】全員の採択です。



仲田緑地の工事

【請願の要旨】 日野本町四丁目目空地への、3階建てワンルーム・マンション建築計画に対し、付近住民の生活権、日照権、プライバシー等を守るため建築に反対し、市の適切な指導を求める請願

建設委員会

【請願の要旨】 日野本町四丁目目空地への、3階建てワンルーム・マンション建築計画に対し、付近住民の生活権、日照権、プライバシー等を守るため建築に反対し、市の適切な指導を求める請願

今定例会で議決した議案

市長提出議案

認定………認
承認………承
可決………可

- 昭和59年度日野市一般会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市国民健康保険特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市都市計画事業特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市下水道事業特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市立総合病院事業特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市受託下水道事業特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市農業共済事業特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市老人保健特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和59年度日野市仲田緑地用地特別会計決算の認定について(認)。
- 昭和60年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告承認について(承)。
- 日野市議会議員公費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可)。
- 日野市民会館建設資金積立基金条例を廃止する条例の制定について(可)。
- 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可)。(改正の内容は、管理職手当の算定基礎に算入するものです)
- 日野市地区広場設置条例の一部を改正する条例の制定について(可)。
- 日野市都市計画事業高幡土地区画整理事業施行規程を定める条例の制定について(可)。
- 日野市都市計画事業豊田南土地区画整理事業施行規程を定める条例の制定について(可)。
- 昭和60年度日野市一般会計補正予算(第3号)について(第3号)(可)。
- 昭和60年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について(第2号)(可)。
- 昭和60年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について(第2号)(可)。
- 昭和60年度日野市立総合病院事業特別会計補正予算(第3号)について(第3号)(可)。
- 昭和60年度日野市受託下水道事業特別会計補正予算(第2号)について(第2号)(可)。
- 昭和60年度日野市農業共済事業特別会計補正予算(第1号)について(第1号)(可)。
- 昭和60年度日野市老人保健特別会計補正予算(第2号)について(第2号)(可)。
- 昭和60年度日野市仲田緑地用地特別会計補正予算(第1号)について(第1号)(可)。
- 市道路線の廃止について(可)。
- 市道路線の認定について(可)。
- 日野市立日野第二中学校給食室建築工事請負契約の締結について(可)。
- 日野市立日野第二中学校給食室給排水衛生空調設備工事請負契約の締結について(可)。
- 町区域の認定について(可)。
- 万願寺土地区画整理事業施行地区内の土地区画整理事業用地の権利放棄について(可)。
- 農業共済無事戻し金の交付について(可)。
- 東京都市公営委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市公平委員会共同設置規約の変更について(可)。
- 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可)。(改正の内容は、期末手当の支給率を2.45とするものです)
- 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可)。(改正の内容は、給料、扶養手当等の増額を定めるものです)

議員提出議案

(可決された意見書は各々の関係機関に交付されました)

- 住宅・都市整備公団の「縮小・民営化」に反対し、国民のための公団住宅の建設促進を要する意見書(可)。
- 母子保健法改正に関する意見書(可)。

特別委員会中間報告(要旨)

下水道対策

市民要望のトップである、公共下水道の普及に、理事者と連携をとりながら国・都に対し流域下水道の推進を強く要望してまいりました。南多摩処理区は供用開始になり、本年末より百草地区の一部が利用を始めました。浅川処理区については66年度稼働に向け、用地買収が進んでいます。秋川処理区も測量が完了し、用地買収に入るべく説明会をしています。

農林水産省跡地利用対策

第一桑園9.4ヘクタールのうち1.2ヘクタールに仲田小学校が建設され、3.9ヘクタールに仲田緑地建築工事を進めています。61年度には、陸上競技場の完成をめざしています。又、一部は2・2・10号線道路工事も進められています。第三桑園には、(仮称)ふるさと博物館を62年から2年間をかけて、建設する予定で準備を進めています。

高幡踏切対策

高幡踏切の立体化工事は、区画整理事業に併せて進行させるべきか、立体化を単独で行うべきか、理事者を通じ、各関係機関と協議検討してきました。その結果、高幡区画整理事業に併せて推進していく方向が決まりました。今後は、都道を地下に通し、立体交差にする工事方法で、昭和66年度工事着工に向け進むと考えられます。

廃棄物対策